

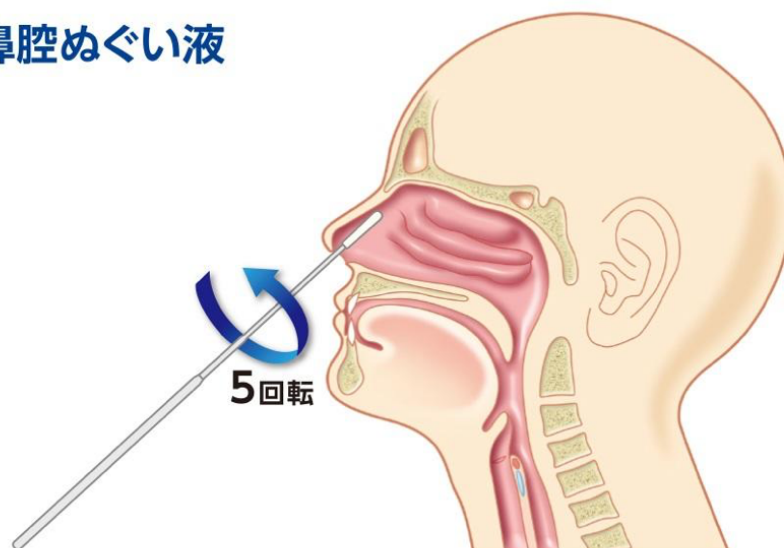
鼻腔ぬぐい液による新型コロナウイルス抗原検査

抗原定性検査はPCR検査に比べて診断精度はやや劣りますが、結果がすぐに得られる利点があります。当院では院内感染対策、診断精度の点から、自宅で採取する唾液PCR検査を優先しますが、症状の重症度、年齢などから新型コロナウイルス感染症であるかを外来で即座に判定する必要がある場合、鼻腔ぬぐい液による抗原定性検査を選択します。

以下の手順で、患者さんご本人により検体を採取していただきます。

1. 院内の遮蔽された区画内で実施します。
2. マスクを着けたまま、マスクの下から採取用綿棒を一方の鼻腔内に **2cm程度** 進めます。
3. 鼻腔壁に軽く当てながら、**5回**ていねいに**回転**させ、**5秒**置きます。
4. 手渡された検体容器の中に綿棒を入れ、返却します。
5. 必要により、インフルエンザ抗原定性検査も同一検体で行います。

●鼻腔ぬぐい液



[鼻腔ぬぐい液の採取方法]

- 鼻腔用滅菌綿棒を外鼻孔から**2cm程度**挿入します。
- 綿棒を**5回転**させ、**5秒程度**静置し、検体を採取します。